

W

ティア特集

企業家倶楽部

VENTURE

THE

4

KIGYOKA CLUB
April 2011
No.92

日本で一番「ありがとう」と言われる葬儀社を目指す

ティア 代表取締役社長

富安徳久のすべて

ベンチャー三国志vol.6 北尾吉孝の獅子奮迅

私の信条 東日本ハウス 成田和幸社長

竹中平蔵の骨太対談 トレジャー・ファクトリー 野坂英吾社長

核心インタビュー セコム 前田修司社長

頑張るしなやか企業 イー・ライフ・グループ 小川義行代表取締役

言いたい放題 ベステラ 吉野佳秀社長

「今、日本を最も面白くする企業家たち」

3月ゲスト 大戸屋 三森久実社長

4月ゲスト ジェイアイエヌ 田中仁社長

<http://KIGYOKA.com>

TEAR
ティア

ティア 代表取締役社長
富安 徳久



居酒屋「上方御馳走屋 うるる 桜通り錦店」にて
(名古屋市中区)

特集
第

富安徳久の人的ネットワーク

Human network of Norihisa Tomiyasu

部

葬儀業界の坂本龍馬

富安は、人に尽くすことを大切にしている。アトミック代表取締役の鮫島敦は「富安さんには高い志と大胆な戦略がある」とその魅力を語り、ライフデザインギアサプライ代表取締役の服部憲和は「坂本龍馬の影響が大きい」と推察する。一方、アクションパワー社長の大津たまみは「優しさだけでなく厳しさも併せ持っている」、駿台トラベル & ホテル専門学校葬祭マネジメント学科専任教員の福田充は「地道な努力家だ」と、何事にも真剣に向き合う富安の姿に感心する。そんな富安に、メディアサポート社長の横田明彦は「一緒に葬儀業界を変えていきたい」と情熱を燃やす。

(文中敬称略)

ともに葬儀業界を変革したい

メディアサポート 代表取締役社長 横田明彦

「飛び抜けて明るく、生き生きしている」。今から20年ほど前、横田は富安と出会い、衝撃を受けた。「これまで業界人とは真逆のイメージだ」。横田はその頃、葬儀会社の東海典礼で病院営業をしていた。当時の葬儀業界で働く人は暗く、若い人は少なかった。だが、富安は違う。元気いっぱい笑顔で、若々しい。

横田にとって富安はライバルの存在だった。横田が営業先の病院に行くたびに、毎回のように「同業他社に富安という凄い男がいる」という話を聞いた。一体どんな男なのか、一度会ってみてみた。そんなある日、偶然営業先で富安と出会う。「とにかく明るい雰囲気、気がとても印象に残った」と横田は当時を振り返る。その後、度々営業先で出会い、話をする仲になった。富安は横田に「葬儀業界をよりよく変えたい。独立して、ティアという会社を創ろうと思うんだ。一緒にやらないか」と誘った。横田は「やりたい」と直感的に思った。富安の高い志と情



Akihiko Yokota

ていたため、イタズラ電話が頻繁に掛かってきた。誹謗中傷の電話に、富安は精神的に参っていた。それを知った横田は、電話会社の知り合いを富安に紹介し、別の携帯電話を用意してもらった。それ以降、嫌がらせの電話も収まり、富安が仕事に集中できる環境が整った。「富安さんの心の負担を少しでも取り除けてよかった」と横田は振り返る。

熱に、心が突き動かされたのだ。ただ今の状況を抜け出すのは難しい。横田は当時、ライバルの葬儀社で取締役も務めていた。そう簡単に辞めるわけにはいかない。しかし不透明な葬儀業界を変えたいという思いは同じだった。「彼なら、業界を変えられる。一緒にできることがあるなら、手伝いたい」と思った。

富安がティアを創業後、苦しい状況が度々訪れた。特に大変だったのは、同業他社からの嫌がらせである。富安は当時、名刺に携帯電話番号を載せ

業他社の圧力をものともせず、急成長を遂げていく。その勢いに後押しされるように、横田も2000年4月、葬儀会社の帝都典礼(現・帝都葬祭)を立ち上げた。日本の首都を意味する「帝都」を社名に冠することで、「常に日本の葬儀業界の最先端を進んで行きたい」という想いを込めている。ティアと同様、真心の込めた葬儀を提供し、葬儀会社の格付け機関JECIA(ジェシア)の最高評価である五つ星を取得。その実績を元に、ドラマや映画の葬儀

シーン設定なども手がけていった。その代表例の一つが、TBSの大ヒットドラマ「華麗なる一族」(2007年、木村拓哉主演)である。同ドラマの葬祭シーンはすべて同社がプロデュースした。「白夜行」や「ROCKIES(ルキーズ)」などの人気ドラマをはじめ、東京放送、テレビ朝日、NHK、日活映画撮影所などからドラマや映画の葬祭シーンを受託している。

2004年6月には、霊柩自動車の運送事業を展開するメディアサポートを設立。葬儀社などから委託を受け、24時間365日対応で病院や自宅から葬儀会場、葬儀会場から火葬場へと遺体を搬送する。富安が最も信頼する霊柩運送事業会社で、主力の取引先でもある。09年11月4日には、日本証券業協会の証券市場「グリーンシート」へ株式公開した。

「ティアさんから数多くの仕事をいただき、私どもの会社も成長できた」と横田は言う。ティアは名証センターから名証2部に指定変更し、さらなる飛躍を遂げている。メディアサポートも今後、名証センターとジャスタック上場を目指す方針だ。「私も富安さんとともに葬儀業界を変革したい。同じ志を持つ者同士、これからも一緒に頑張っていきたいと思います」